



福山市立駅家西小学校

学校だより

第5号

2025年(令和7年)8月29日

●学びあう子 ●支えあう子 ●やり抜く子

2学期が始まりました。こどもたちが大きな事故や怪我もなく過ごしてくれたことに感謝でいっぱいです。学習の充実期、様々な行事がある2学期も、本校学校教育に温かなご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【 始業式の話 】

夏の高校野球全国大会(甲子園)のエピソードから、大切だと思えることを話しました。

仙台育英高校、須江航監督。この監督は「グッドルーザー(良き敗者、潔く負けを認める人、勝者を祝福する人)」として全国の人々から感動された人です。仙台育英高校は全国優勝したこともある名門のチーム。しかし、勝つこと以上に「人として成長してほしい」という願いのある監督。(始業式のパワーポイントのスライドです)

2「あはっ」
勝(か)った
あいての
選手(せんしゅ)
一人一人に

1「ねばりよく チャレンジ」
「だいじょうぶ だいじょうぶ」
(ピンチに 選手にかける言葉)
監督自身、選手の時に
レギュラーになったことがない
試合(しあい)にも出れない
↓...しかし
その思いが分かるから
「名門校の監督」「すばらしい人柄」

3「人のよいところ見つける人」
あいて せんしゅ
うちの・相手の選手は～が
すばらしい

今は亡き作家の村上和雄さんは、四半世紀前の「最新のコンピュータ」に「どんな人間が最後に生き残るか」を推測させたそうです。根本的に、大切な資質や力は何か、という意味の問いだったのでしょう。

結果、「譲る心をもった人」という回答だそうです。「力の強い人」「競争に勝ち抜く人」ではなく。

では現在は。日本講演新聞の中部支局長が、チャット GPT に同じ質問をしました。

結果、①適応力の高い人 ②協調性と共感力をもつ人

③自己管理ができる人 ④学び続ける姿勢をもつ人

⑤ポジティブで希望をもち続ける人 いかがでしょうか。

どの時代も、結局、豊かな時代を築く鍵、それは「優しさ」だったということです。戦後80年、先人が苦勞して穏やかな社会をつくってきてくれた歩みを、私たち大人が、こどもたちと共に、大切に引き継いでいきたいと思っています。(文責：校長 池田明子)

学校の安全のために

学校の施設の修繕のために、福山市内には学校技術員さんがいます。駅家西小学校の担当技術員さんは駅家中学校にあり、複数の学校の要望に応えてくださっています。学校の教職員で毎月安全点検を行い、壊れている場所や使いにくいところがあれば依頼し、駅家西小学校だけでも今年度すでに20か所以上の場所が修繕されています。保護者の方が気付いてくださり、修繕につながったところもあります。今後も安全にこどもたちが学習できるよう取り組んでまいります。



(南門が開きっぱなしになる
ことができました)



(門の上部に鎖をつけて留まる
ようになりました)



(北門を入れてすぐ左のところが
デコボコしていました。重機をつかって平らに
してもらいました)

夏の思い出 サマーフェスタ・サッサカ祭り



(4年生による「よっちょれ」)

8月2日はサマーフェスタが、8月23日はサッサカ祭りが催されました。どちらも大盛況で、こどもたちもとても楽しそうでした。PTAの役員の皆様には、こどもたちのために輪投げ屋を出店していただき、ありがとうございました。売上金につきましては、PTA一般会計としてこどもたちの学びに還元させていただきます。

「こころの相談室(体罰・セクシャルハラスメント・いじめ防止相談窓口)」 場所：保健室・会議室・職員室 担当者：内野・西本・前田・松谷